

2021年2月10日(水) ジギング 三重県鳥羽湾 強丸 with ツレ  
大潮:旧12/29 満潮05:57(185cm) 干潮11:32(82cm) 満潮16:56(172cm) : 鳥羽  
自分 : ワラサ 62cm 1尾 ハマチ 47cmまで 4尾 マトウダイ 1尾  
ツレ : ハマチ 47cmまで 3尾 マダイ 47cm 1尾

5時57分 満潮 (185cm : 鳥羽)  
6時00分 集合  
6時30分 出船  
11時32分 干潮 (82cm : 鳥羽)  
14時00分 納竿, 沖上がり  
14時15分 栈橋着  
14時45分 帰路



【仕掛け】 ショートジグ ガンテツ150g ガンテツZ165g TGベイト120g

【料金】 乗り合い 男性 11,000円 女性 9,000円 水洗トイレあり

### 【様子】

- 天気、風、波の予報を見て本日の予約を3日前に入れる予定だったが、「HPに3名空きあり」とあったことから、5日前に予約をした。客は満席だった。
- 前回の日記では、「予約は3日前では遅いということだ。」とあった。
- 今日は晴れ、途中、風が強く吹くこともあったが、比較的弱かった。波もあまりなかった。うねりもなかった。アプリによる風の予報は5m、波の予報は1.5mだった。
- 酔い止めを午前4時に飲んだ。風、波、薬のおかげで二人とも酔うことはなかった。
- 釣り座は船長指定で、後ろに入った。後は4人入ることができる。右舷側に入った。
- 場所の移動はあったものの、水深は60mぐらいだった。
- サワラ対策のため、リーダーの先にフロロ16号を50cm付けた。
- ロングジグを使っているお客さんがいるようで、「ベイトが5cmくらいのコウナゴ？(キビナゴ?)だから、ロングジグでは釣れない。ガンテツZ、ガンテツ、TGベイトが良い。色は、赤金、緑金、シルバー。」というアナウンスがあった。
- 自分は“ガンテツZ フィッシング遊オリカラの赤金 165g”を、ツレは“ガンテツ 赤金 150g”をセットした。
- 「朝の時合いに釣らないと釣れないぞ」と船長から檄が飛ぶ。
- 当たりがあった。生命反応があるが、簡単に上がってくる。マトウダイだった。
- 次の当りは良く引いた。ハマチだった。
- その次の当りは前回より良く引く。ダブルだった。フロントフックとリアフックに1尾ずつ掛かっていた。
- その次はハマチだった。
- ツレはハマチを3尾釣った後、マダイを釣った。
- 朝の時合いは終わった。当たりが止まってしまった。
- しばらくして、当たりがあった。良く引く。ドラッグも滑る。ワラサが上がってきた。
- 後半は、船中でポツリポツリとワラサなどが上がってきたが、自分たちには当たりもなかった。
- ツレとお祭りになった。自分のPEラインを切って対応した。船上で直すことはあきらめた。スピニング用



の竿を持って行ったのでそれを使った。スピニングタックルは操作しにくい、釣りにくい。これに掛かってくることはなかった。

○強丸のHPには「竿は1本ではだめですよ」とある。細いPEラインを使っているので、ライントラブルが起きやすい。時合いにライントラブルを直しては話にならないということだろうか。

○終了間際、ツレが根掛かりさせてしまい、“ガンテツZ フィッシング遊オリカラの赤金 165g”を失ってしまった。PEラインの途中で切れていた。

### 【当たったときの状況】

自分:ハマチ・ワラサはすべて着底する所にヒットした。(フォールで喰ってきた)

ツレ:ハマチは着底して巻き始めたら掛かったのが2回、ワンピッチの途中で掛かったのが1回だった。

マダイは、ワンピッチを止めて、巻き始めで掛かった。水深35mだった。

### 【釣り方】

#### <船長から>

青物はジグが着底したら高速で巻いて止める。高速巻きで追いかけてくる。止めたときに喰ってくる。

シーバスはショートなワンピッチが良い。

#### <隣の人の釣り方>

○左舷大艙に座った女性はブリダービーでの上位入賞者だった。今日は、ワラサ2本、ハマチ数本、マダイを釣り上げていた。

○この人は、着底したら、素早く2回巻き(糸ふけを取る、根掛かりを防ぐ)の後、「ワンピッチで2~4回巻き、竿を大きく振り上げること1~2回する」を繰り返していた。ずっとこの釣り方だった。

○ワンピッチも高速ではなかった。全体的にゆっくり巻いているイメージだった。

#### <自分の釣り方>前回の記録から

その1:着底後、“ワンピッチを5~10回した後、竿の振り上げを2回してジグをフォールさせる”ことを3回繰り返す。当たりがなければ、そのままジグを底まで落とす。

水深30mの時には、“ワンピッチ7回した後、竿の振り上げを2回してジグをフォールさせる”を2回繰り返した。当たりがなければ、そのままジグを底まで落とす。ワンピッチ7回を2セットして、当たりがなければ、そのまま底まで落とすという釣り方は隣の人のまねである。

その2:「着底後すぐ早巻き5~10回、その後、その速さでワンピッチ、それから、スピードを落としてのワンピッチ」(伊勢湾ジグの釣り方としてYouTubeに掲載されていた釣り方)

#### <ツレのハマチの釣り方>前回の記録から

着底したら、すぐに早巻きした。ワンピッチではなく、ただただ速く巻いた。

着底してすぐにヒットだったり、着底して少し巻いたらヒットというパターンだった。

### 【リール、道糸、リーダー】

○リールは、二人ともウタセ真鯛用に購入したリールで、PEライン1.5号が巻いてある。

○自分用のリールのリーダーはフロロ5号6m。

○ツレ用のリールのリーダーはフロロ25ポンドを2ヒロ付けてある。

リーダーは1.5ヒロが良いが、少し切れたとしてもリーダーを付け直す必要がないようにするため、2ヒロ付けた。

※船長より:リーダーは5m付ける。ブリが掛かった時にリーダーの伸びでバレを防ぐ。

### 【ヒットジグ】

○ガンテツZ 165g 赤金(フィッシング遊オリカラ)      ワラサ、ハマチ、マトウダイ

○ガンテツ 150g 赤金      ハマチ、マダイ

### 【ロストジグ】

○ガンテツZ 165g 赤金(フィッシング遊オリカラ)